

スポーツプロモーションコース で目指すこと!

地域創造学環 スポーツプロモーションコース

TOPIC

1. スポーツプロモーションコースとは
2. スポーツプロモーションコースで学ぶ内容
3. スポーツプロモーションコース担当教員
4. スポーツプロモーションコース生の関心領域
5. 選抜方法C(スポーツ系)の入試について
6. スポーツプロモーションコースの社会還元

1. スポーツプロモーションコースとは

3

■今日の地域課題

- ①超高齢化社会に対応する健康・介護問題
- ②住民の余暇・学習機会の格差

■世論

- ①2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催！??
- ②スポーツ産業の成長化の促進
- ③改めて、健康の希求
- ④スポーツのもつ多大な影響力(政治・経済、教育、福祉、well-being)

■静岡県の強み

- ①歴史豊かな“静岡スポーツ”
- ②自然・地形を活かしたエコロジカルスポーツの開発
- ③地元プロスポーツクラブの隆盛

静岡地域、延いては国民のスポーツプロモーションを先導する担い手として本コースの存在意義を確認できる。

4

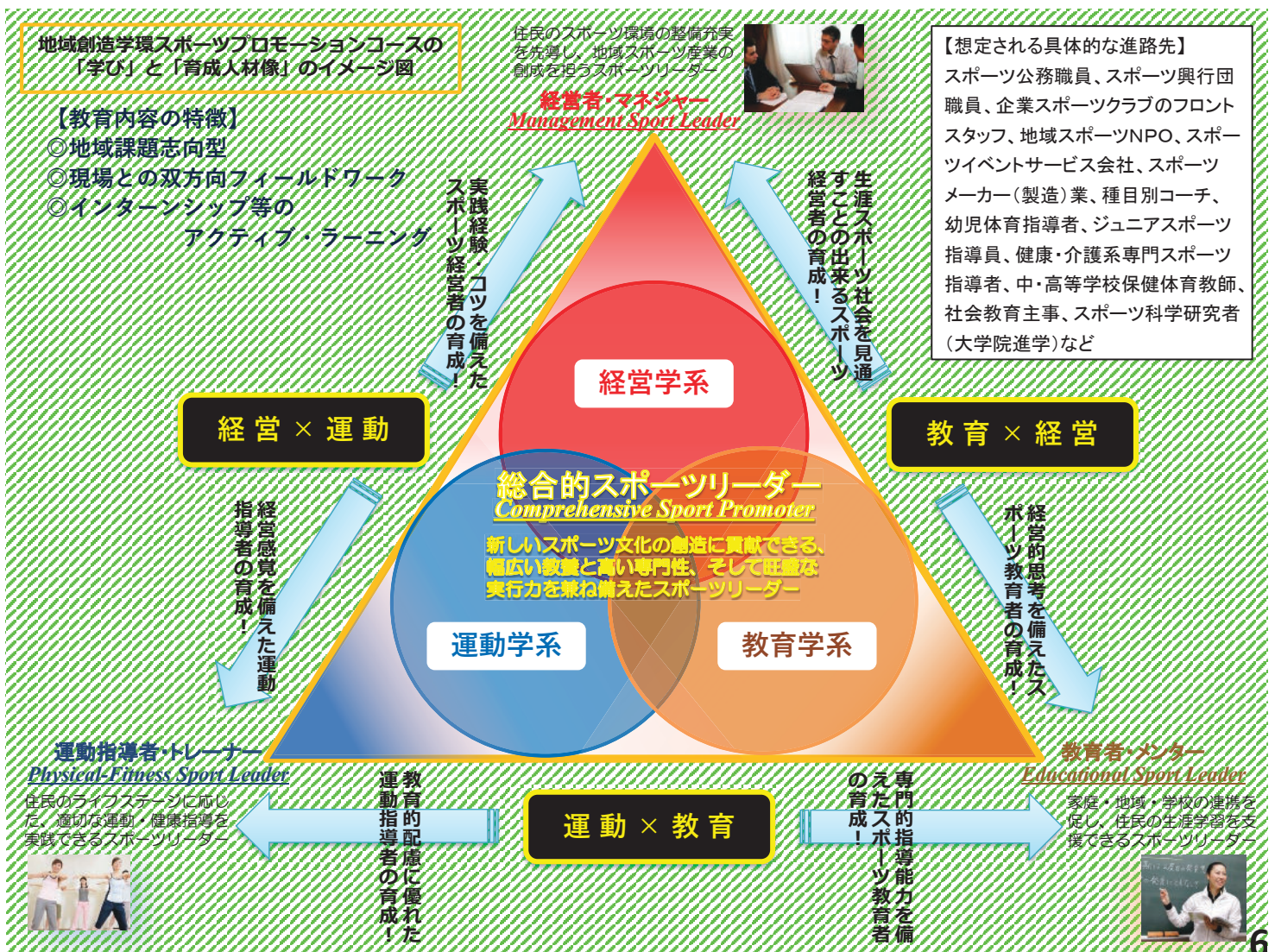
■ スポーツプロモーションコースの育てる人材像

豊かな地域社会の創造に資する新しいスポーツ文化創造の担い手として、幅広い教養と高い専門性を兼ね備え、旺盛な実行力を発揮することの出来る **総合的スポーツリーダー** の育成

総合的スポーツリーダーの内実としては、

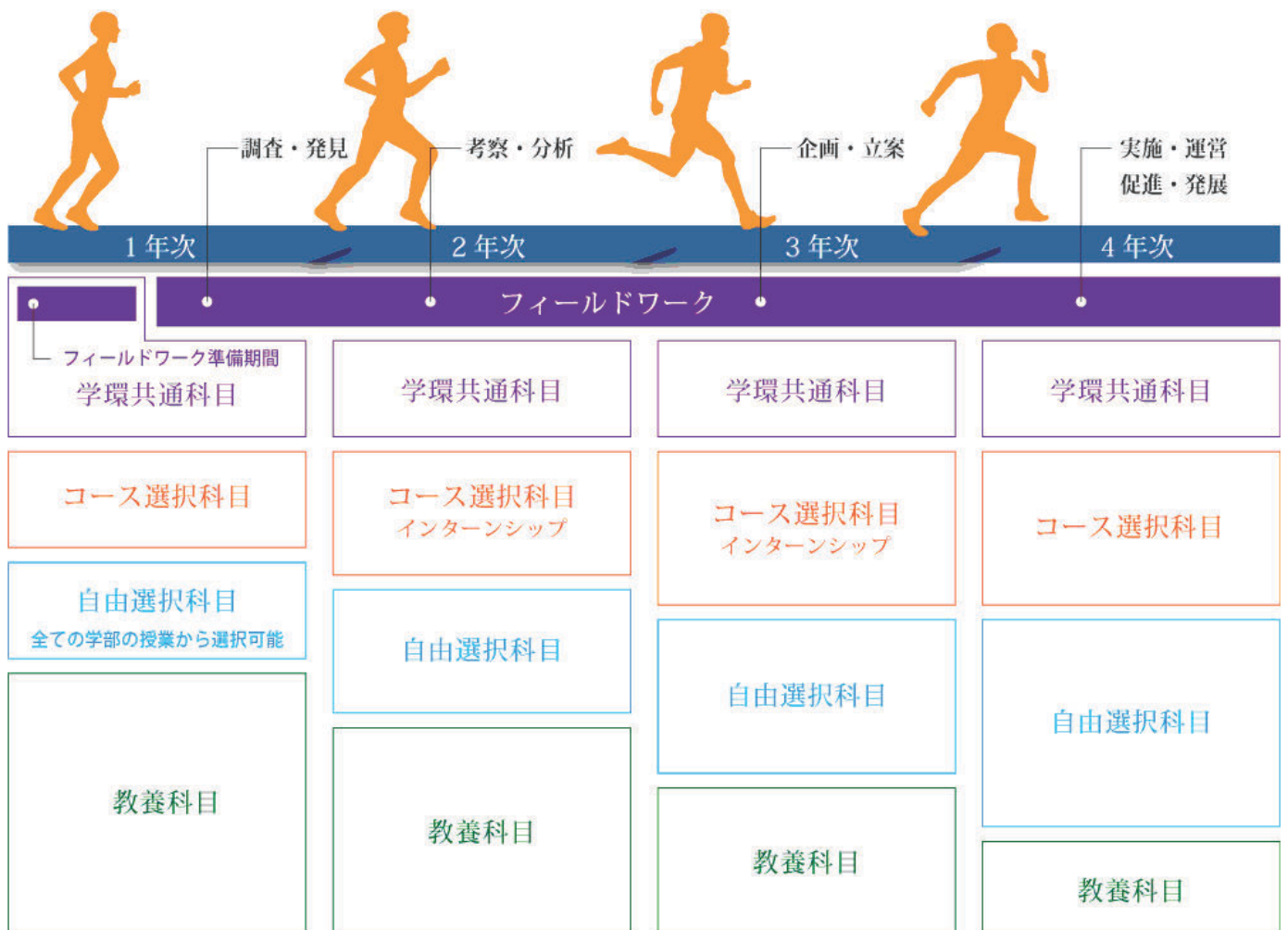
- ①『フィジカルスポーツリーダー』
 - ②『マネジメントスポーツリーダー』
 - ③『エデュケーショナルスポーツリーダー』
- の3タイプとなる。

それぞれの専門性を融合させながら地域社会に貢献できることこそが、「総合的」な見方へと繋がるものとする。要するに、個別専門性を活かしつつも、視野が広く理解力に長けたスポーツリーダーの育成を目指す。

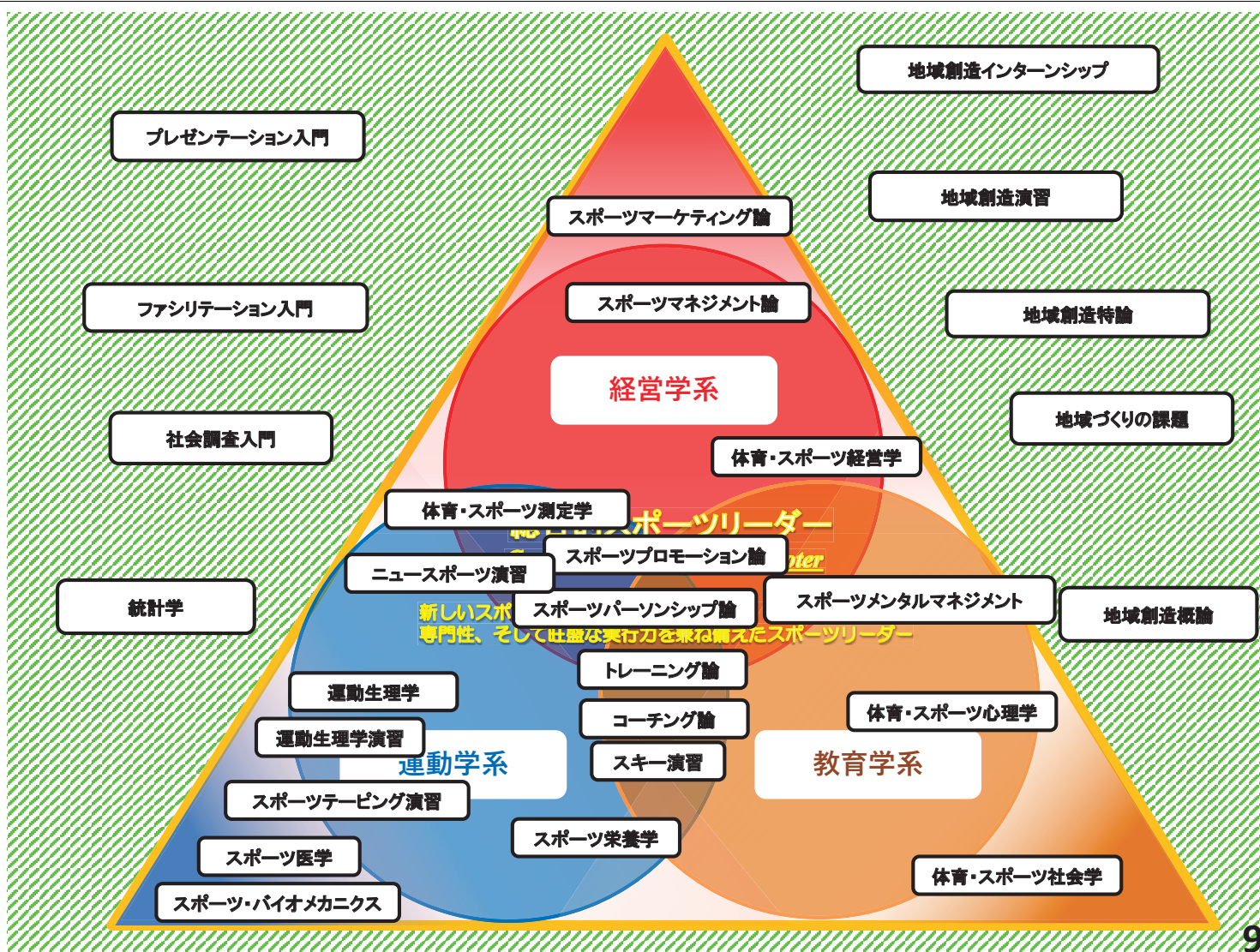


2. スポーツプロモーションコースで学ぶ内容

7



8



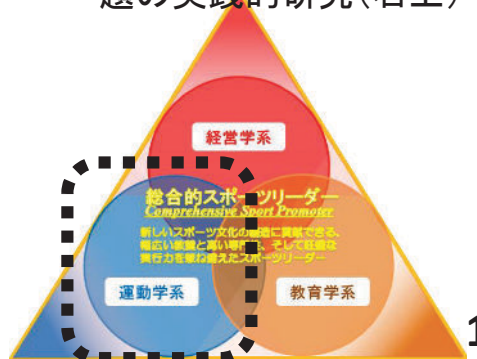
学年進行別におけるコース選択科目のカリキュラム一覧

	運動学系	経営学系	教育学系
四年次			
三年次	スポーツバイオメカニクス		
	スポーツ医学	スポーツメンタルマネジメント	保健体育科内容指導論 衛生学実験 小児保健特論 体育統計学
	スポーツテーピング演習		体育・スポーツ社会学
	コーチング論		武道
二年次	運動生理学演習	スポーツマーケティング論	
	スポーツ栄養学		体育・スポーツ心理学
	トレーニング論	体育・スポーツ経営学	保健体育科教育法 ダンス 衛生学 運動学 陸上競技
一年次	運動生理学		
	ニュースポーツ演習		スキー演習
	スポーツパーソナリティ論	スポーツマネジメント論	体育原理 水泳 学校保健 球技 器械運動
	体育・スポーツ測定学	スポーツプロモーション論	



・御殿場口新五合目における、高地トレーニングメソッドの可能性に関する生理学的研究(左上)

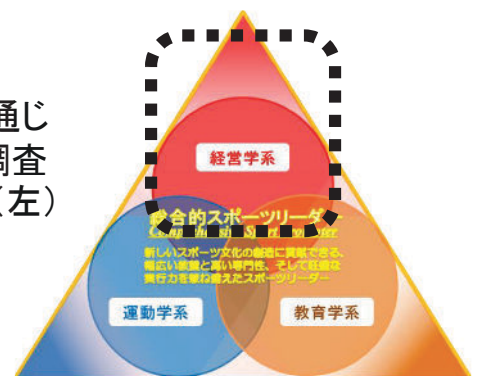
・中高齢者の健康体力問題の実践的研究(右上)



・スタジアム観戦者調査を通じての、スポーツマーケティング演習(上)

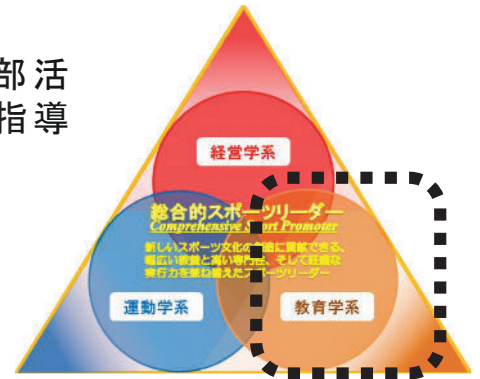


・フィールドワークを通じた庵原地区の全戸調査に関する分析・提言(左)





- ・地域の健康イベントにおける指導実習(左上)
- ・アウトドアスポーツの指導演習(右上)
- ・学校運動部活動における指導演習(左下)



3. スポーツプロモーションコース担当教員

【教授】河合 学

【専門研究領域:コーチ学】バレーボールのコーチング、直立姿勢保持に関する視覚の役割について

【専門実技指導:バレーボール】女子バレーボール部監督

【近年の指導学生の研究テーマ】

- ・大学女子バレーボールにおけるブロック力評価に関する一考察
- ・バスケットボール選手における上肢の筋力と柔軟性の向上が跳躍力に及ぼす影響
- ・ハンドボール競技のセットプレーにおける成功パターンに関する考察

【教授】杉山 康司

【専門領域:運動生理学】ノルディックウォーキングの研究、体幹筋におけるEMG研究、トレーニングと体力科学研究

【専門実技指導:バスケットボール】男子バスケットボール部監督

【近年の指導学生の研究テーマ】

- ・アルペンスキー技能の違いがGPS測位軌跡と心拍数応答に及ぼす影響
- ・110mハードル走のアプローチ区間における速度および加速特性
- ・静岡県の小中学生における体力水準の比較検討



15

【准教授】祝原 豊

【専門領域:運動生理学】中高年齢者の健康に関わる課題への生理学的アプローチ、ウォーキングによる健康教育の展望

【専門実技指導:バスケットボール】女子バスケットボール部監督

【近年の指導学生の研究テーマ】

- ・ポスチュアウォーキング時におけるエネルギー消費量および足圧分布の特性
- ・空手道形の生体負担度に関する考察
- ・一般中高年者におけるノルディックウォーキング時の足底圧分布による下肢負担評価

【准教授】村田 真一

【専門研究領域:スポーツ経営学】地域スポーツクラブのマネジメントに関する研究、スポーツ組織文化に関する研究、スポーツ生活に関する原理的研究

【専門実技指導:ハンドボール】男子・女子ハンドボール部監督

【近年の指導学生の研究テーマ】

- ・総合型地域スポーツクラブの運営参加に関する研究
- ・学校運動部活動の外部指導者活用に関する研究
- ・Jクラブスポンサー企業のスポンサー認識に関する研究



16

【准教授】杉山 卓也

【専門研究領域:スポーツ心理学】スポーツにおける心的最高状態、フロー、タレント発掘、メンタルトレーニング

【専門実技指導:サッカー】

【近年の指導学生の研究テーマ】

- ・大学サッカー選手の心的特性に関する研究～競技レベル差に着目して～
- ・スポーツ傷害と心理的特性の関係性
- ・剣道選手における“不安”に関する研究



さらに、スポーツプロモーションと特に関連の深い、教育学部保健体育教育専修の先生方5名（「スポーツ哲学」「運動学」「健康教育」「体育科教育学」「舞踊・ダンス指導論」）や教育学部養護教育専修の先生方3名（「公衆衛生学」「学校保健学」「看護学」）、また他領域にも「スポーツ倫理」や「野外教育・リスクマネジメント」の専門家など多彩なスタッフが皆さんをお待ちしています。

17

4. スポーツプロモーションコース生の関心領域

18

スポーツプロモーションコース1期生(2020年3月卒業)の卒業研究タイトル一覧

- ・クラブライフと地域生活の関連性についての研究
- ・運動部活動指導者の体罰意識とその要因に関する研究
- ・プロサッカークラブの地域貢献事業における自律的展開に関する研究
- ・大学サッカー選手による判定制度への印象に関する研究
- ・大学生ダンサーにおける過度な下肢の柔軟性追求によるスポーツ障害の関連と意識調査
- ・アルティメット競技における大学生選手のSOTGの認識に関する研究

- ・一過性準高所暴露下における高回転自転車漸増負荷運動中の生理学的変化
- ・運動強度の違いがブローライフルのエイミングに及ぼす影響～ブローバイアスロンの普及を目指して～
- ・足底アーチと動的バランスの関係性～足底アーチ改善を謳うインソールの効果について検討～
- ・中高年女性の準高所ハイキング時における注意機能の検討
- ・質的・量的評価からみる幼児の投能力の発達に関する研究
- ・幼児の自由遊びにおける動きの種類と成熟度との関係
- ・成人期ダウン症者の身体活動量および体力に関する実態調査
- ・中高年女性における準高所運動時のコンディショニングに関する実践的研究



※追加資料

スポーツプロモーションコース2期生(2021年3月卒業)の卒業研究タイトル一覧

- ・地域スポーツ観戦者の経験価値に関する研究
- ・公共スポーツ施設におけるサービス・クオリティに関する研究
- ・企業によるスポーツチーム保有目的に関する研究
- ・プロスポーツクラブのSDGs導入過程における成果と課題に関する研究
- ・スポーツ観を通じたeスポーツの実情と課題に関する研究
- ・大学生へのeスポーツの普及とその発展に関する研究
- ・ニュージーランドにおける地域スポーツトラストの実態調査と静岡県への提言
- ・駿府城公園中堀周回コースの景観体験に関するフィールドワーク的研究～皇居周回コースと比較して～
- ・女性のスポーツ環境に関する研究
- ・準高所スポーツ合宿誘致における参加者の実態調査の分析システム作成～持続可能な社会を目指して～

- ・トレーニンググローブを用いた短期間トレーニングは、動的バランスを向上させるか
- ・ウォーキング時における不織布マスクが生理・心理応答に及ぼす影響
- ・サスペンショントレーニングが身体機能に及ぼす効果についての検討
- ・実践的トレーニング動作を組み合わせたタバタトレーニングの運動強度の検証とその有用性

- ・大学運動部活動における学生マネージャーの言葉かけが選手のやる気に及ぼす影響

5. 選抜方法C（スポーツ系）の入試について

21

質問1：C選抜の入試形態で臨み合格した場合は、スポーツプロモーションコースに入らなければならないのか？ **※最新情報**

回答1：必ずしもその必要はありません。

	在籍数	推 薦			前 期			後 期
		A選抜	B選抜	C選抜	A選抜	B選抜	C選抜	
2016年度入学生 (1期生;既卒)	17名	1	0	5	3	0	6	2
2017年度入学生 (2期生;既卒)	14名	2	0	4	5	0	3	0
2018年度入学生 (現4年生)	13名	1	0	4	3	0	5	0
2019年度入学生 (現3年生)	17名	0	0	5	6	0	5	1
2020年度入学生 (現2年生)	10名	0	0	5	2	0	2	1
2021年度入学生 (現1年生)	現在、聴取・調整中							

22

質問2: 推薦C選抜の「運動歴調査書」はどのように扱われるのか？

回答2: 皆さんの運動歴やその活動への意味付けを確認するための基礎資料であり、面接での質問の参考とするものです。競技成績の高低で合否を判断することはありません。さらに言えば、出願に際する競技成績の基準も設けておりません。

質問3: 特に運動歴(高い競技実績等)を有しているわけではないが、C選抜で受験はできるのか？

回答3: 出来ます。私たちの運動・スポーツへの関わりは、「する」という側面以外にも、「観る」や「支える」など様々です。私たちの豊かな暮らし(地域創造)に貢献するスポーツの在り方を考える際には、様々なスポーツの価値(経済的価値、社会的価値、鑑賞的価値、国際的価値)を論究する必要があるため、これらの事を意識しながら学習を深めることは大事になります。

23

質問4: 前期C選抜の「実技」はどのような内容が行われるのか？

回答4: 大学ホームページの入試情報にもありますが、「基礎的かつ複合的な運動能力についての検査を行います」という事しか言えません。したがって、具体的な内容はお答えできません。屋内か屋外なのかもお答えできませんので、どちらも想定しておくべきでしょう。

質問5: 合格してスポーツプロモーションコースに入った場合は、運動系の部活動に入らなければならないのか？

回答5: 入らなければならないという規則はありませんので、あくまで任意(各自の自由)となります。ただ、スポーツについて学び深めるためには、その基盤となる“経験”がとても重要なものと考えますので、できる限りの活動を推奨しています。実際に多くのコース生が運動部の中心役として頑張っています。

24

6. スポーツプロモーションコースの社会還元

25

スポーツプロモーションコース1期生(2020年3月卒業)の進路状況(内定先一覧)

【公務員系】

警視庁、静岡県警察、静岡県庁、静岡市消防局、富士市消防局

【企業系】

首都高速道路株式会社、鈴与株式会社、東海旅客鉄道株式会社、株式会社シャンソン化粧品、株式会社フォルテ、大成建設株式会社、株式会社ファクトリージャパングループ、日本ガイシ株式会社、日本製粉株式会社、株式会社ジエブ、静岡カントリーグループ、株式会社フジコー、株式会社富士ロジテックホールディングス、三井不動産リアルティ株式会社、三菱地所ハウスネット株式会社、東京建物不動産販売株式会社

【教員系】

静岡県中学校教員(特別支援教育)

【進学】

静岡大学大学院人文社会科学部(臨床人間科学スポーツ系)、専門学校進学(理学療法系)

26

※追加資料

スポーツプロモーションコース既卒生の実際の就職先 ～公開分のみ～

【公務員・団体系】

静岡県庁、静岡市消防局、沼津市役所、旭川市役所、静岡県スポーツ協会

【企業系】

首都高速道路株式会社、東海旅客鉄道株式会社、株式会社シャンソン化粧品、株式会社フォルテ、大成建設株式会社、日本ガイシ株式会社、株式会社ジエブ、三井不動産リアルティ株式会社、株式会社エルテス、株式会社学研ココファン、明治安田生命保険相互会社、株式会社静岡銀行、株式会社オープンハウス、静岡県ブルーレヴス

【教員系】

静岡県中学校教員(特別支援教育)、兵庫県高校教員(非常勤)

【進学】

静岡大学大学院人文社会科学研究科(臨床人間科学スポーツ系)、専門学校進学(理学療法系)

27

※追加資料

スポーツプロモーションコース既卒生(2期分;32名)の実績

表1 進路種別

企業	18	56.3%
公務員	5	15.6%
教員	2	6.3%
その他法人	2	6.3%
進学	3	9.4%
転コース	1	3.1%
退学	1	3.1%
合計	32	100.0%

表3 勤務地

静岡県内(静岡県出身者)	12	44.4%
静岡県内(県外出身者)	4	14.8%
県外出身者の地元	2	7.4%
その他	9	33.3%
合計	27	100.0%

表2 採用形態

正規雇用	24	88.9%
長期有期雇用	3	11.1%
合計	27	100.0%

28

トレーニング効果検証

静岡大など

富士山の御殿場口新5合目とその周辺に広がる標高1500メートル前後の「準高所」エリアでのトレーニング効果を検証する研究を、静岡大などの共同プロジェクトが進めている。準高所は急性高山病などのリスクがほとんどなく、自然に心肺機能の向上や健康増進の効果が期待でき、子どもから高齢者まで幅広く活用できる可能性がある。地元自治体の支援と協力を得て、研究者は「準高所の活動が有効という証拠を示し、地域活性化にもつなげたい」と意欲を示す。

標高1500メートル「準高所」

歩いてコーンを往復するテストに臨む被験者の女性ら＝7月下旬、富士山御殿場口新5合目



7月下旬、御殿場口新5合目の駐車場。普段からウォーキングを楽しむ女性10人が被験者となり、10分離れた場所に置かれた二つのコーンを歩いて往復しながら、3分間で進む距離を測るテストに臨んだ。目を閉じて片足で立つことができる時間など、平地での運動能力と比較するためのさまざまなデータを集めた。



健康増進期待、地域活性化へ

高所でも、肉体的には日常生活と変化なく運動できることが分かっている。順天堂大、日本大、仙台大とともにプロジェクトを行う静岡大の杉山康彦教授（スポーツ健康科学）によると、準高所での運動効果の検証は2千〜2500メートルの高所と比べて即効性に欠けることから、研究があまり進んでいないという。杉山教授は「普段と同じ感覚で活動し、自覚症状がないまま能力が高まる状態が理想」と準高所のメリットを強調し、「徐々に検証成果が出てきている」と自信を深める。

当初からプロジェクトに協力している御殿場市は、御殿場口新5合目周辺や交流拠点施設「マウンテンフィットレルステーション」を提供し、同施設の運営組織が研究費を助成。準高所トレーニングの適地だと明らかになれば、スポーツ団体の合宿誘致を図り、交流人口の増加につながる考えだ。今年から準高所の水ヶ塚公園（裾野市）にクロスランナーコースを整備した真や岡市と連携した活動にも取り組むという。

（社会部・松岡幸広）

中学部活企業が応援隊

大学も参加 多忙化解消狙う

静岡で結成

静岡市は20日、市立中学の部活動をサポートする地元企業や大学が参加する「部活動応援隊」を結成し、市役所静岡庁舎で記者会見を開いた。民間活力を部活動の質の向上や教員の多忙化解消につなげる全国的に珍しい試みで、各企業の持つ人材や技術を生かした支援に取り組む。

（政経部・山下奈津美）



参加企業や大学は、1位に部活動が挙げた。部顧問や指導者を派遣し、業務上の強みを活用したサポートを行う。具体的には、用具の運搬（運送業）、中症対策や栄養学に関する講師の派遣（食業）、品製造販売（▽体幹トレーニングの実施）、整骨院▽試合結果速報アプリの開発（ソフト開発）などを提案している。

2016年度に中学教諭に実施した調査では、多忙化の要因の第

部活動応援隊に参加する企業の代表者＝23日午前、静岡市役所静岡庁舎

2018年4月24日付 静岡新聞

間は50%を超え、生徒が効果的な指導を受けられない実態も浮き彫りになった。

市は健全な部活動の在り方を模索し、17年度に、活動時間などを定めたガイドラインの策定や外部顧問の導入に着手した。地元企業が持つ人材や技術にも注目し、市内の約1万3千社に対して「応援隊」への協力を呼び掛けた。

参加企業の一つ、静岡ガス静岡支社の北川浩孝支社長は「全国レベルで活躍する生徒の運動部や長年続けている食育事業がある。豊富な人材と知見をサポートに生かしたい」と抱負を述べた。

田辺信宏市長は「部活動は教員に負担をかける一方で、生徒の人間形成を担う。両方のバランスをいかに取るかが大事」と話した。

スポーツで地域活性化重点

県、推進計画見直しへ

審議会に諮問

県は24日、本県スポーツ推進の基本的な方針を示した県スポーツ推進計画（目標年次2020年度）の見直しを県スポーツ推進審議会（会長・富田寿人静岡理工科大教授）に諮問した。審議会は18年3月までに答申をまとめる。国が3月策定した第2期スポーツ基本計画（17、21年度）や、県内で開催される20年東京五輪・パラリンピック、19年ラグビーワールドカップを踏まえ、現行計画よりも「スポーツを通じた地域の活性化」を強く打ち出す。

県は24日に県庁で開く「スポーツの未来」などのスポーツに親しむ場の「充実」など6項目のいた会合で、見直し議論に親しむむきつけ「確保などを盛り込んだ」柱を立てた。議論のたたき台となる「スポーツ環境の基盤」事務局案に対し、審議会の委員からは、県

県スポーツ推進計画・見直し 事務局案

- ①スポーツ参画人口の拡大
- ②スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実
- ③スポーツを通じた多様性のある社会の実現
- ④スポーツを通じた地域の活性化
- ⑤競技力の向上
- ⑥クリーンでフェアなスポーツの推進

民の健康づくりや医療費抑制の観点、学校の部活動の位置付け、スポーツ実施率の低い30〜40代の働く世代への対策など、さまざまな意見が出た。地域スポーツクラブの現状と課題も提起された。

2017年8月25日付 静岡新聞

2017年6月24日付 静岡新聞

静大と市まちづくり公社

実践的学習機会の場提供

包括連携協定を締結

静岡大と静岡市まちづくり公社は23日、実践的な学習機会の提供を通じ、魅力ある地域の創造を目指す包括連携協定を締結した。同市清水区の清水ナショナルトレーニングセンターで調印式を開き、今後の連携推進を確認した。

（浦原支局・相松孝暢）



公社が運営する市内のスポーツ施設やコミニティー施設の事業に学生を受け入れ、フィールドワークの場として活用する。同大は地域課題を総合的に解決できる人材育成を、公社は学生の知見を取り入れた魅力的な施設運営を目指す。

同大教育学部と公社は2011年度から、生涯スポーツなどの分野で実践的な学習の場として学生を受け入れる中で支援したい」と述べた。

皆さんと共に学べる日を
心より楽しみにしています



—昨年度の卒業祝賀会より